

口腔育成系診療科

矯正歯科

TEL 022-717-8376(外来)

科長 溝口 到



診療科WEB



外来担当医表

私たちは以下に示す不正咬合に対する矯正治療を専門に行っております。

1) 歯を配列する治療: 歯の配列に用いる代表的な装置は、ブラケットとワイヤーからなるマルチブラケット装置です。ブラケットは、従来は金属製だけでしたが、最近では審美的に目立たないプラスチック製のブラケットが用いられています。装置の調整は1か月間隔で行い、歯の移動の治療期間は、2年から3年ほどかかります。当科では顎骨に固定源を求める歯科矯正用アンカースクリューを積極的に適用しており、従来困難であった歯の移動を効率的に行うことができますようになりました。

2) 顎骨の整形治療: 成長期の子どもにおいて骨格性の問題がある場合には、整形的装置を用いて顎骨の成長をコントロールする治療を行います。使用期間は1年から2年です。

3) 外科的矯正治療: 骨格性の不調和の程度が大きく、矯正歯科治療単独では良い咬み合わせを獲得できない場合には、矯正歯科治療と顎切り手術を併用する治療が行われます。治療期間は通常の矯正歯科治療と同じく2年から3年ほどを要しますが、途中顎切り手術のために2週間位の入院が必要になります。

主な対象疾患

歯並びや咬み合わせの異常(不正咬合)には、さまざまな種類があります。主な不正咬合としては叢生(そう生)、空隙歯列、上顎前突、下顎前突、開咬、過蓋咬合、交叉咬合(歯列の左右的非対称)があります。これらの不正咬合は、歯の位置の異常によるもの(歯性)と顎骨の位置や形によるもの(骨格性)に大きく分けることができます。当科の対象疾患は歯性不正咬合や軽度から中等度の骨格性不正咬合に加えて、重度の骨格性不正咬合(顎変形症)が対象疾患となります。